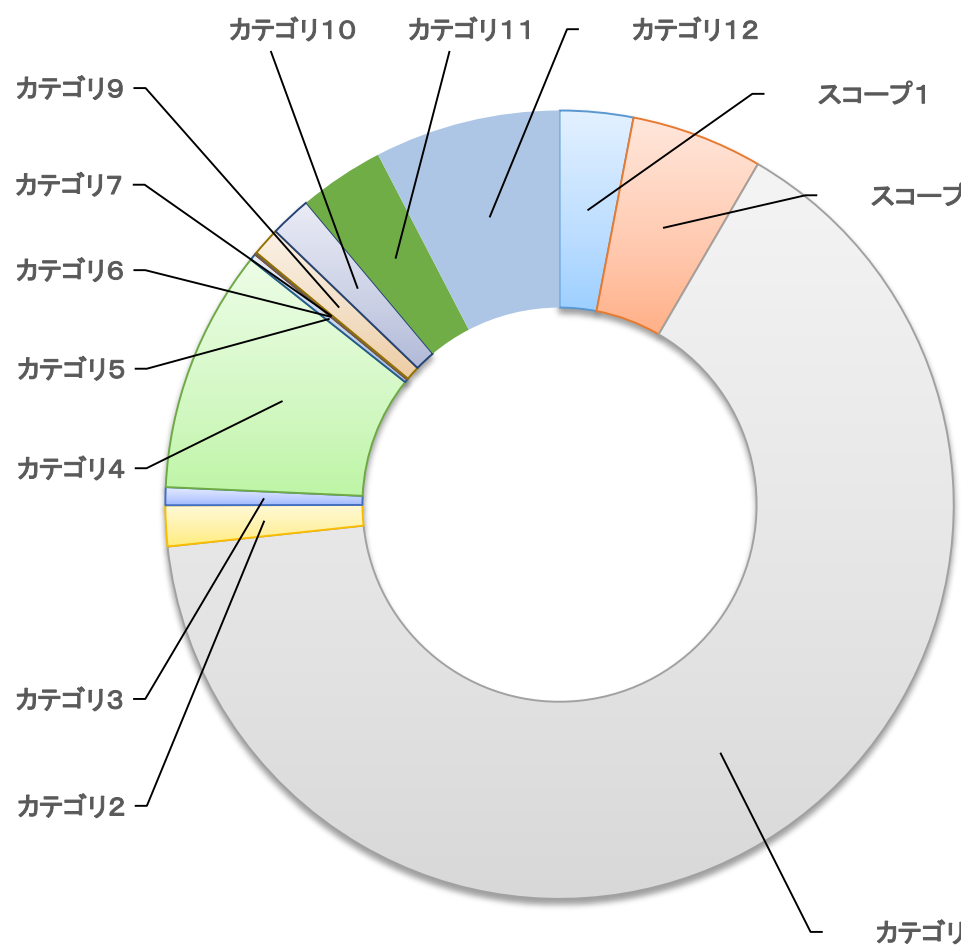


大建工業株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：建築資材の製造・販売 ● 事業概要： <ul style="list-style-type: none"> エコ素材、内装建材及び住宅機器等の製造販売 ビル、マンション、店舗の内装工事、住宅のリフォーム工事等 ● 事業規模： <ul style="list-style-type: none"> (売上高) 182,962百万円 (2019年3月期) (連結) (従業員) 3,287人 (2019年3月末) (連結)
2.削減目標案	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>国内排出量： 2021年度までに、国内拠点の排出量を、2013年度比26%削減</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>今回、グループ会社を含めた国内拠点を対象にScope3の算定を行ったが、今後は海外のグループ会社も含めて算定を行ったうえで、具体的な削減計画を検討する。</p>

大建工業株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : - [tCO2]
	 <p>カテゴリー10 カテゴリー11 カテゴリー12</p> <p>カテゴリー9 カテゴリー7 カテゴリー6 カテゴリー5 カテゴリー4 カテゴリー3 カテゴリー2</p> <p>スコープ1 スコープ2</p> <p>カテゴリー1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : - [tCO2]
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : - [tCO2]

大建工業株式会社

項目	項目
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<p>【リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海岸に隣接した生産拠点については風水害による被害により、生産設備が破損し、生産能力に影響を受ける。 ● 風水害により、輸送ルートが寸断され、輸送ルートや輸送方法の変更などを余儀なくされることにより、モーダルシフト率の低下や運賃が増加する。 ● 生態系の変化やパリ協定に伴う規制強化により木材調達リスクが増加する。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 炭素固定の観点で地球温暖化の防止に貢献する当社製品（建築廃材や間伐材を有効利用した木質繊維板等）の価値が認められ、販売機会が増加する。
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope1・2については、パリ協定に基づき日本政府が設定している2013年度比26%削減の目標を前倒しで、2021年度までに達成する。 ● Scope3については、削減目標の設定までは至っていないが、長期的な排出削減目標のSBT認定取得を排出削減の推進力とし、持続可能な社会に向けて貢献を行う。

大建工業株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 現状、海外グループ会社についてはScope3未算定であり、SBTに則した目標設定をするためには、海外のグループ会社を含めてScope 3を算定することから始める必要がある。● 今後、海外グループ会社を含めたScope 3の算定、および目標設定のための情報収集を行い、当社グループ全体で目標設定し、社外開示できるよう検討を進める。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 海外グループ会社のScope 3 算定● 国内拠点のScope3については、カテゴリ1、カテゴリ4、カテゴリ12で全体の約9割を占めることが特定できた。今後、目標設定を検討する中で、特定した排出源をどのように削減するか検討を進める必要がある。